

令和5年度学校評価アンケート 自由記述内容について

今年度の学校評価アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

多くの保護者の方々にご意見をいただきました。複数のご意見の主だったものにつきまして回答を記載させていただきます。

【学習】

- ・先生方の努力で、子どもたちが楽しく学校生活を送れていることに感謝しています。
- ・ここ数年で外部講師や地域の方々との面白い授業が増えていると思う。専門の方に教えていただくことで知識が深まり子どもたちにとって素晴らしい経験になると思います。子どもたちも楽しんで学校に通っています。
- ・自然体験をたくさん取り入れているところはすばらしい。地域の方、いろいろな方との関わりが増えていることもすばらしい。
- ・夏休みの宿題は、日誌以外は選択制にしてほしい。
- ・担任の先生だけでなく多くの先生が子どもたちと関わってくださり、とてもありがたいです。
- ・教科担任制でなく、担任の先生に授業をしてほしい。
- ・担任によって子どもの伸び方が違う。先生自身が楽しみながら教育することが大切だと思う。
- ・家庭科、図画工作科での見守りが過保護だと感じる。多少の失敗はした方がよいし、ケガはしない方がよいがしたときの対処法も学んでほしい。
- ・テストは終わり次第、早めに返してほしい。
- ・子どもが自発的に深く考える教育を多く取り入れてほしい。（自由研究など）
- ・性教育を行ってほしいです。

～学校としての考え～

- 本年度、本校はコミュニティスクールを立ち上げ、今まで以上に地域の方が学校教育に携わっていただけるよう進めています。多くの外部講師の方に来ていただいたり、校外学習をしたりして教科書だけでは学べないことも学ぶことができました。今後も外部講師の人材開発を進め、子どもたちが地域との関わりを深くできるような学習が進められるよう努力してまいります。
- 夏休みの宿題については、子どもたちが長い休みでしか取り組めないことに、ご家族とともに取り組んでいただきたいと考え、縮減してきました。皆様のご意見を参考に子どもたちの成長にとってよりよい内容になるよう、再考いたします。
- 教科担任制については、文部科学省からも高学年を中心に推進していくことが推奨されています。学校教育で取り組む内容も年々、多岐にわたっています。教員一人一人の力量向上をしつつ、「全ての子どもを全ての教員で見守る」ということをめざし、より多くの眼で子どもたちを多面的に見守っていきたいと思います。
- その他、授業の進め方やテストの返却についてのご意見をいくつかいただきました。子どもたちの学習が滞りなく進められるよう、教員研修を充実させ、改善を図ってまいります。

【生活】

- ・休み時間の子供同士の関わり、人間関係の様子をもっと把握してほしい。
- ・ランドセルいっぱい教科書を持ち帰ってくる。何かあった時にすぐに走れないのではないか。
- ・給食当番のエプロンを自由にしてほしい。洗剤のおいがきつくて具合が悪くなることもある。

～学校としての考え～

- 休み時間の子どもたちの様子については、教室と運動場等で教員がある程度の持ち

場を決めて見守っていますが、子どもたちの自由な活動を保っているため、目が行き届いていないこともあります。運動場の見守りにはみどりっこサポーターや保護者ボランティアの皆様にもご協力いただき、大変助かっています。子どもたちには「困ったら先生に相談する」「ケガをしたら保健室へ行く」ということが安心してできる関係づくりを推進してまいります。

○持ち帰りの荷物については、基本的には国語と算数の教科書のみ持ち帰り、あとは学校保管としています。タブレットの持ち帰り時には荷物が重くなるため、他の荷物が増えないよう全校で調整しており、今後も継続します。

○給食のエプロンについては、希望される方には個人持ちにいただいています。担任までご相談ください。

【生徒指導】

- ・日々子どもたちの意見や気持ちを尊重していただき、のびのびとした学校生活を送ることができていると思います。
- ・子どもに怒鳴って指導するのをやめてほしい。
- ・先生の言葉かけが命令口調だったり、説明が多かったりして子どもが戸惑っている。
- ・一部の子どものフォローのために全体の子どもの学習が中断することに不安を感じる。
- ・先生の対応で子どもが悲しい思いをした。子どもの話が全て正しいとは思っていないが子どもの状況を見て柔軟に対応してほしい。
- ・集団行動時が軍隊のよう。座らせる必要のない時に座らせている。
- ・子ども同士のトラブルについて、連絡がほしい。教師間でも情報共有してほしい。
- ・子どもがクラスでいじめにあったとき、担任の先生はすぐに対応して下さり、いじめがなくなりました。とても感謝しています。対応の早さはすばらしいと思います。
- ・個人面談の際、先生が子どもの様子を分かりやすく説明して下さり、子どものことを一人一人しっかり見守ってくれていると感じ、安心しています。いつもありがとうございます。
- ・クラス決めで仲の良い子と離されてつらい思いをした。よく人間関係を把握して編制してほしい。

～学校としての考え～

○指導について、様々なご意見をいただいています。子どもたちの発達段階や状況などを考慮し、子どもたちがよりよく成長していくために場面に応じた適切な指導方法について、今一度、教員研修を充実させてまいります。

○子育てには、学校と家庭が協力して共通理解を図りながら行っていくことが不可欠です。学校での心配な様子は保護者に伝えるとともに、ご家庭で心配な様子がありましたら学校へ相談していただくとありがたいです。子どもたちの健やかな成長のために保護者の皆様と協力していきたいと思えます。

○学級編制は、子どもたちの様々な状況を総合的に判断し、バランスを考え行っています。結果として、仲の良い友達と学級が離れる場合もありますが、交友関係がさらに広がり、子どもが新しい学級に早く慣れるような取組を、これまで以上に取り組んでまいります。

【行事】

- ・授業参観の回数を減らしてほしい。
- ・授業参観で保護者も参加する内容が欲しいです。
- ・授業参観が親子参加型だと兄弟に差が出ることや普段の授業の様子が分からない。
- ・授業参観の学年の組み合わせを年一回でも変えてほしい。
- ・みどりっ子フェスタをもっと見ごたえのあるものにしてほしい。

- ・行事のレベルを上げてほしい。
- ・マラソン大会をやってほしい。
- ・運動会の子ども応援席で子ども同士のトラブルがあったときに担任が不在だった。道具の準備等運営をみどりっこサポーターや保護者に任せたらどうか。
- ・運動会が簡素化され過ぎている。
- ・運動会の組体操がコロナ前の内容に戻っていて、ケガをしている子がいた。組体操はコロナ禍と同じ内容でよい。
- ・運動会の時間短縮など柔軟に見直していただいております、保護者の負担と学習のバランスを考えていただいておりますと感じています。

～学校としての考え～

- 授業参観については、通常型の授業、発表型の授業、保護者参加型の授業、外部講師を招いた出前授業など、できるだけ毎回テーマを変えて取り組むようにしています。ご都合のつく範囲でお越しいただきますようお願いいたします。
- 行事については、これまでの学習のまとめという面と行事までの取組で伸ばすという面があります。学年が上がるにつれて子どもたちの自主的な取組を尊重し、子どもたちのアイデアを生かした発表になるよう心がけています。それによって見栄えが多少劣ってしまうこともあるかもしれませんが、今後、見せ方も含めて子どもたちと一緒に考えていきたいと思っております。温かい眼で応援していただけると幸いです。
- 運動会の練習では、安全を第一として取り組んでいます。しかしながら、ケガが発生したことは大変申し訳なく思っています。ケガをした場合は、原因を調べ、同じ場面で同じケガが起きないように改善策を練っています。今後も安全を第一として演技内容を工夫し、同じケガが起きないように練習を重ねて参ります。

【安全指導】

- ・よく言えば開かれた学校だが、誰でも出入りできるので防犯上心配している。

～学校としての考え～

- 文部科学省から出されている現行の「学習指導要領」では、「社会に開かれた教育課程」を大切にすることが提示されています。それに従って、本校もこれまで以上に学校と地域とのつながりを強化していきたいと考えています。一方、防犯面での安全対策の必要性も日々感じています。現在、学校の門は子どもが登校後、施錠しています。また、学校に入るボランティア（みどりっこサポーター、ミルキーポケット等）の皆様には名簿に記入していただき、職員で誰が来ているかを把握しています。併設している児童クラブについても同様です。これまでの安全対策に過信することなく、危険箇所についての危機意識をもち、改善してまいります。

【タブレット・情報教育】

- ・ゲームアプリは削除してほしい。
- ・タブレットの持ち帰りをやめてほしい。視力の低下にもつながるのでは。
- ・休み時間のタブレット使用は止めてほしい（条件付きにしてほしい）。外遊び、図書室の利用を促してほしい。
- ・小学生でもスマホをもってLINE等のSNSを利用している子が多くいる。スマホ依存にならないか心配している。正しい使い方の指導をしてほしい。
- ・長期休業時の宿題が分かりにくかった。

～学校としての考え～

- 市教育委員会から貸与しているタブレットについては、益々進む社会のIT化に合わせて、今後も積極的に授業等へ活用していくことが求められています。しかし、日々子どもたちが情報機器の活用によるトラブルに巻き込まれるニュースも報じられています。これから子どもたちは社会の変化に合わせて、情報機器から遠ざけるのではなく、トラブルに巻き込まれないよう情報を適切に活用する力が求められています。スマートフォン等については、ご家庭によって状況が違ふことと思っております。

保護者の皆様とも協力しながら、子どもたちの情報活用能力を向上させていきたいと思ひます。

【PTA】

- ・PTAの役員のくじ引きをやめてほしい。
- ・PTAは希望者のみの活動としてほしい。
- ・除草作業は全保護者が参加した方がよいと思う。
- ・交通当番が負担である。仕事を休まないといけない。

～学校としての考え～

OPTAの役員決めについては、令和5年度役員の皆様、令和6年度役員の皆様と相談しながらより良い形を考えていきます。

OPTAの運営につきましては、本年度、市教育委員会から出されたガイドラインに準じて本校の実情に合わせた形で会員の皆様と協力して、より良いものにしていきたくて考えています。「できる人が、できるときに、できるように」を合言葉に新しいPTA活動をめざしてまいります。

○登下校については、学校の管理下外となりますが、PTAと協力しながら一緒に見守りを行っています。通学班による登下校については毎年、高学年の力を借りながら登下校をしています。学校では、低学年の頃、支えてもらった分、自分が高学年になったら低学年を支えるという「恩送り」の気持ちをもって高学年に活躍してもらいたいと思っています。通学班で起きる問題についても、より迅速に対応するために昨年度から毎月ミニ通学班会を実施しています。ここでも、高学年が中心となって下学年とともに、仲良く安全に登校する方法を話し合っています。しかし、通学路によっては大人の見守りが不可欠の場所があります。現在の交通当番のシステムは開校以来27年かけて、毎年調整しながらつくり上げてきたものと聞いています。子どもたちの安全な登校、子どもたちの命を守るためにできる限りご協力いただきますようお願いいたします。

【ホームページ・きずなメール】

- ・校長先生配信の「緑丘小の今日」子どもたちの様子が知ることができ、毎週楽しく拝見させてもらっています。ぜひ続けてほしいです。
- ・学校のHP、校長先生からの金曜に届く子どもたちの様子を楽しみにしています。

～学校としての考え～

○温かいご意見をたくさんいただきました。これからも子どもたちが学校でいきいきと学習に取り組む様子をできる限り伝えていきたいと思ひます。

【アンケート】

- ・Webでやってほしい。

～学校としての考え～

○できるだけ保護者の皆様の負担が少ない実施方法を工夫してまいります。

この他にも、学校の運営等についてご意見をいただきました。いただいたご意見を踏まえ、今後の教育活動の改善を図ってまいります。

一方、激励のお言葉も例年になく多くいただき、大変感激いたしました。保護者の皆様に支えられていると強く実感いたしました。

今後もさらなる努力を重ね、できる限りの改善を図ってまいります。今回、すべてのご意見に回答ができませんでしたが、個別の件に関しましてご質問等がありましたら、教頭までご連絡をお願いいたします。ご協力ありがとうございました。